



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

安全管理について

(平成23年9月)

職員、消防団に貸与されている保護帽の管理は適正か。また、労働安全衛生法上の耐用年数は。
消防団へも購入し、その他消防器具も耐用年数の過ぎた物は改善をしては。

質問

城里町職員の町民に対する接遇について

(平成24年9月)

現在の町職員の町民に対しての接遇は十分か。また電話対応、来庁時、役職や名を名乗り要件を聞くなど気持ち良くお帰りになれるよう職員の指導を考えては。

現在、配布し順次更新していく

東日本大震災直後、職員の安全確保の為、購入配布しており、消防団へは順次更新。また耐用年数は熱硬化性樹脂のものが5年。熱可塑性樹脂のものが3年です。各分団の備品台帳を備え管理指導している

答弁

職員のマナー向上に向けていきたい

向上心を持ちサービスに徹する心構えが大事。一生懸命やっている職員もいる。今後、全職員マナー向上のため勉強会も開催させてみたい。

現在の状況は、こうなっています

順次計画的に更新したい。

(ヘルメットの製造メーカー・日本安全帽工業会)安全基準では、帽体の材質にもよるが、5年以内に交換するように説明。消防団員のヘルメットについても使用頻度等に考慮し順次計画的に更新したい。

更に接遇研修を行ってきたい。

各課ごとに、研修を行っています。更に接遇研修を行うために、今年度中に講師養成講座に職員を派遣します。

編集後記

2年間、広報の仕事に携わってきましたが、この委員会メンバーでの最後の号になります。

研修や編集会議を通して、表紙の写真や文字の大きさ、レイアウト等を工夫して、町民の皆さまに読んでもらえよう討論を重ねてきました。

ITや通信技術の進歩により広報のあり方は今後大きく変化していくでしょう。広報委員会も広報誌の発行だけでなく、議会のネットでの動画配信や高校生への啓蒙活動、地域へ出向いての報告会等を考えていく必要があると思います。

暖冬とはいえ、寒さはこれからが本番です。どうぞ皆さま、ご自愛下さい。

最後に議会事務局には編集作業で大変お世話になり感謝しております。

三村 孝信 記

議会広報委員会

- 委員長 三村 孝信
- 副委員長 南 孝一
- 委員 片岡 誠一
- 委員 関 治郎
- 委員 藤 咲
- 委員 美 美子